

# 海

約2年放置

# 海洋モニタリング に関する検討会

原子力規制委員会にこういう名前の検討会があります。  
第1回会合が2013年9月13日、  
そして第4回が2014年1月27日に開催されたのを最後に一度も開かれていません。  
中村佳代子委員が担当していましたが、2015年9月に退任されています。  
その退任会見で。。

2015年9月18日  
中村 佳代子 原子力規制委員 退任会見

参考資料①

今現在の段階では、先生方、そこで参加してくださった方々の御意見を一応守っておりますので、特にそのリクエストがあるというわけではなく、(中略)とにかく私たちは事実を伝えていくことをまず第一と考えています。

今現在はそれを開く段階になっていないというだけの問題です。

宿題が一杯あったはずなのに。。。本ポスターシリーズでもこの検討会の内容を紹介してきていますが、私が特に注目していた問題点が2つ。

① 化学物質汚染

② 連続モニタリングの実施

## 参考資料

- ①原子力規制委員会HP 原子力規制委員会臨時会見 中村佳代子委員退任会見速記録  
<http://www.nsr.go.jp/nra/kaiken/index.html>
- ②原子力規制委員会HP 海洋モニタリングに関する検討会  
[http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kaiyou\\_monitoring/index.html](http://www.nsr.go.jp/disclosure/committee/youshikisya/kaiyou_monitoring/index.html)
- ③国立医薬品食品衛生研究所HP 国際化学物質安全性カード(ICSC) -日本語版-  
<http://www.nihs.go.jp/ICSC/>

# 1 化学物質汚染

国立環境研 堀口氏

参考資料② 第1回議事録p.47

ホウ酸やヒドラジン、その他の生物に悪さを、有害性を及ぼすかもしれないような物質が、どういうものが入っていて、いつまでそれが投入されていて、投入総量が幾らであったか、これはぜひ明らかにしていただきたいと思います。

参考資料② 第4回議事録p.16

なぜ、私がこういうことをお尋ねしているか、(中略)  
現在ももちろん問題ですけども、事故直後にかなりの量が一般海洋中に漏れたのではないかという思いがあって、それでお尋ねしているんですね。

## ホウ酸

参考資料③ ICSC番号0991

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

### ■原子炉への投入量

参考資料② 第3回資料1(東電へのヒアリング概要)

- ▼臨界抑制のため投入
- ▼投入量の記録無し

東京電力 菅井氏

参考資料② 第4回議事録p.17

今現在、実際に作業をした人の聞き取りでは、**量について把握できていない**という状況でございます。

原子力規制委員会 中村氏

参考資料② 第4回議事録p.18

物の流れというのは非常に貴重だと思います。ただ、緊急時のときでしたから、いろいろな記録が残っていないのはいたし方ないにしても、ある一定の記録が残っていれば、そこから類推することができますので、その辺がわかりましたら教えてください。

### ■使用済み燃料プールへの投入量

参考資料② 第3回資料1(東電へのヒアリング概要)

- ▼3号機で水質改善のため投入
- ▼105トンのホウ酸水溶液を投入(ホウ酸としては約1.7トン)(2011年末時点。現状使用せず)

### ■環境への影響調査のため

2013年10月31日～11月29日  
に海水・地下水のホウ素濃度測定

東京電力 菅井氏

参考資料② 第4回議事録p.14

いずれも5mg/L未満ということで、**環境への影響はなからうというふうに判断**しております。

### 少しだけ感想を

連続モニタリングについては次回。東電にはいっぱい宿題が出てくるんですね。ホウ酸について、環境への影響調査として2013年11月に水を採取して「濃度が低いので影響は無い」って言ってますが、事故から2年近く経った後の水で判断するって、素人が見てもおかしいでしょう。。。ヒドラジンも実際に漏れてるかどうかはモニタリングせず、大丈夫と言ってるだけ。これ、このまま忘れ去っちゃいけない問題のはずなんですけど、すでになかったことのようにされてるような気がしてなりません。

## ヒドラジン

参考資料③ ICSC番号0281

長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

### ■原子炉への投入量

参考資料② 第3回資料1(東電へのヒアリング概要)

- ▼1～3号機の炉内腐食防止のため投入
- ▼2013年8月から投入開始
- ▼投入濃度(1ppm未満)が水質基準以下且つ炉内の放射能等の影響で分解されているので**環境への影響無し**と考える

### ■使用済み燃料プールへの投入量

参考資料② 第3回資料1(東電へのヒアリング概要)

- ▼1～4号機で腐食防止のため投入
- ▼2011年の早い時期から投入 参考資料② 第3回議事録p.15
- ▼2013年11月時点で総投入量約210トン
- ▼閉ループなので**外部への漏れいなし**

国立環境研 堀口氏

参考資料② 第4回議事録p.17

その閉ループは、事故後につくられたんですか。

東京電力 菅井氏

はい。事故後でございます。

国立環境研 堀口氏

とりあえず今日のところはこれで、ありがとうございます。

参考資料② 第2回資料3(東電へのヒアリング概要)

海洋モニタリング検討会の委員からの指摘もあるので、実際にモニタリングした方が良く、原子力規制庁からコメント。